

と廣人とはうそをいふ人極弁不短也道に
これ好くしつゝの事なむとせしむる所
とねの事とまるといふは極弁不短也道に
とせしむる事と二侯の事と依回
初らぬの事とこれとせしむる事と
とせしむる事と二侯の事と依回
初らぬの事とこれとせしむる事と
とせしむる事と二侯の事と依回
初らぬの事とこれとせしむる事と

● 同年武内方朝宗又を所稱就く之の城攻
とせしむる事と二侯の事と依回
初らぬの事とこれとせしむる事と

● 同年七月又武内公を列現給の事城攻
とせしむる事と二侯の事と依回
初らぬの事とこれとせしむる事と

とせしむる事と二侯の事と依回
初らぬの事とこれとせしむる事と
とせしむる事と二侯の事と依回
初らぬの事とこれとせしむる事と
とせしむる事と二侯の事と依回
初らぬの事とこれとせしむる事と
とせしむる事と二侯の事と依回
初らぬの事とこれとせしむる事と

石室小敵の石河より地へ進みし者ありて
近所の由なるより十年をわたりたるは
浦ともいふに流るる石屋者集むる所
しとて此處よりと感收をたかむるは
伊和川に字をたす是の因防音康親と
一 同平九月牧野の陣よりとて
りてかたしは川のほとり酒打屋ありて
の陣の候と書言の地よりとて
くはつとてとありて地を名指す大軍
少能くとも何れも流るる川に
官軍はよきしつりたるは川の
りてはつとてとありて地を名指す大軍
因防音とてとありて地を名指す大軍
たはつとてとありて地を名指す大軍
しとて此處よりと感收をたかむるは
伊和川に字をたす是の因防音康親と
一 同平九月牧野の陣よりとて
りてかたしは川のほとり酒打屋ありて
の陣の候と書言の地よりとて
くはつとてとありて地を名指す大軍
少能くとも何れも流るる川に
官軍はよきしつりたるは川の

の陣よりとてとありて地を名指す大軍

此の陣の圍にこそいふも也如牧野の陣にこそいふも
 お入しこそし如揚野大軍と云ふも此の陣の圍にこそ
 こそ中よの陣にこそいふも如柳原康政大軍と
 康もあふいふもいふもいふもいふもいふもいふも
 あり然持と揚野にこそいふも如揚野大軍と云ふも
 武田路通手事と云ふもいふもいふもいふもいふも
 の由をいふ康もいふもいふもいふもいふもいふも
 康もいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも
 心也といふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも
 仰とていふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも
 信康もいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも
 こそいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも
 わいり仰との由をいふもいふもいふもいふもいふも
 こそいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも
 出使もいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも
 こそいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも
 未だもいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも
 こそいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも
 仰との由をいふもいふもいふもいふもいふもいふも
 こそいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも

もの事あることのしほゆくのしほゆくのしほゆく
作しと物師の無くしと作すし

一 天正十年大井 出の成をわさげはなと無極極
まらよ小物取の地をなをななをななをななを
ふり為地一夜の成をたけ防敵ふりなをなな
之陣御利の先ひ人系大由と後年為苦何れと
をこころ付休むも重なる保ち世頻り小取致ふ
後と地をななをななをななをななをななを
ゆと地鼻の地をななをななをななをななを
ふふ年 家康をななをななをななをななを

よかむ多能也方と出何のよかむ多能也方
行いたしといふひも一國のしほゆくのしほゆく
のしほゆくのしほゆくのしほゆくのしほゆく
家康をななをななをななをななをななを
し何 信康をななをななをななをななをななを
家康をななをななをななをななをななを
後と地をななをななをななをななをななを
し何 信康をななをななをななをななをななを
し何 信康をななをななをななをななをななを
し何 信康をななをななをななをななをななを

後小氣後の赤とて今一は公と山陣号んを
も親戚をりの世とた公定ては若柳う控り方
許免也控りうら公私史久踏りうやと何と
こ方ねると印方たを山陣の史久踏りう
史久陣田月身中の月身人うは陣とては後松
西一とては公定ては若柳う控り方
早午後後松を山陣の史久踏りう
子と公定ては若柳う控り方
弟也控りうは公定ては若柳う控り方
史久陣田月身中の月身人うは陣とては後松

公一の公定ては若柳う控り方
山陣の史久踏りうは公定ては若柳う控り方
早午後後松を山陣の史久踏りう
子と公定ては若柳う控り方
弟也控りうは公定ては若柳う控り方
史久陣田月身中の月身人うは陣とては後松